

## 令和7年度 京都府立乙訓高等学校学校経営計画【計画段階】

学校経営方針(中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点目標
<p>1 知・徳・体の調和のとれた人材の育成と、めまぐるしい社会の変化を前向きにとらえ、自分らしく幸せな未来を創り出せるように主体的に考え、感じて、判断し、行動できる人材の育成に努める。</p> <p>2 「京都府教育振興プラン」及び「学校教育の重点」を踏まえ、学習指導要領に即して創意・工夫した教育課程を編成し、地域社会と連携しながら、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を実現する。</p>	<p>1 生徒・地域・保護者に信頼される学校としての教育活動を展開するために、落ち着いて学習ができ、部活動や学校行事にも安心して取り組める環境づくりを行うことができた。</p> <p>2 授業研究週間や教職員研修により「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのタブレットの有効活用についての研究を進めることができた。</p> <p>3 学校のDX化を推進し、校務の効率化、教職員の働き方改革を前進させることができた。生徒・保護者等との相互連絡がさらにスムーズに進められるよう、継続してDX化を進めていきたい。</p> <p>4 ホームページやInstagramで日々の教育活動を即時に発信することができた。多くの府民に関心を持っていただけるような内容での情報発信を継続していきたい。</p> <p>5 探究活動については、成果発表会の実施やAI甲子園本選出場等の成果をあげることができた。探究活動をさらに充実させ、主体的な学習者の育成に努めていきたい。</p>	<p>1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成を図るとともに、生徒の希望進路実現を見据えた学習活動・行事等を計画・実践し、社会の変化に柔軟に対応できる力の育成を目指す。</p> <p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。</p> <p>(2) 読書に親しむ態度を育成する。</p> <p>(3) 「主体的・対話的で深い学び」の実践により、学びの質をさらに高める。</p> <p>(4) 授業デザインプロジェクト(JDP)や授業研究週間等を通じて、常によりよい授業づくりを目指した研究を進める。</p> <p>(5) ICTを効果的に活用するとともに、情報活用能力の育成を図る。</p> <p>(6) 探究的取組を充実させ、生涯にわたって学び続ける資質能力の育成に努める。</p> <p>(7) 学校施設やクラウドの有効活用等により生徒の学習習慣の定着を図る。</p> <p>(8) 全ての生徒が安心して自分らしく過ごせる居場所づくりに努める。</p> <p>(9) 海外の高校生や留学生との交流をとおして国際的な視点を育む。</p> <p>2 学習・部活動・学校行事等を通じて豊かな心や創造性と健やかな体の育成を目指した教育の充実に努め、主体的に行動できる力を高める。</p> <p>3 キャリア教育及び人権教育、情報教育の推進に努める。</p> <p>4 家庭や地域との緊密な連携を図るとともに、校内連携体制の充実に努め、「生徒・保護者・地域から信頼される学校」づくりを一層推進する。</p> <p>(1) 生徒一人一人の課題に向き合い、成長に繋がる生徒指導を推進する。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣を確立するための指導を推進する。</p> <p>(3) 規範意識の高揚に係る生徒指導を推進する。</p> <p>(4) 部活動の充実を図り、学校の活性化を推進する。</p> <p>(5) 地域行事やボランティア等への参加を促し、地域に貢献する姿勢を育む。</p> <p>(6) 開放型地域スポーツクラブ「おとくにクラブ」の活動を通じて、地域との連携を推進する。</p> <p>(7) 乙訓高校の魅力を広く発信し、志願者の増加を目指す。</p>

領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題	
教務部	組織的な校務運営の推進	<p>時間割編成及び管理、定期考査運営、生徒在籍管理、科目登録・講座編制、教科書届出、指導要録管理、基礎学力補充、学習指導資料(成績資料、シラバス等)の作成、入学者選抜などの所管業務を適切に遂行する。</p>				
		<p>校務システムの円滑な運用を推進し、成績、出欠管理、指導要録、調査書等、職員が能率よく業務を遂行できる環境を整備する。</p>				
	<p>基礎的・基本的な知識及び技能の習得 新学習指導要領に適した授業の推進</p>	<p>基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る授業を展開する。 定期考査前の学習会を実施し、成績不振生徒を減少させる。</p>				
		<p>「主体的・対話的で深い学び」を実現することで、学びの質をさらに高める。 教科主任会議や授業デザインプロジェクト(JDP)を活用し、「指導と評価の一体化」の具現化を図る。 JDPや授業研究週間等を通じて、常によりよい授業づくりを目指した研究を進める。</p>				
総務企画部	広報活動の充実	<p>多くの府民に対して、本校への興味関心を持ってもらえるよう、ホームページ及びインスタグラムのきめ細やかな更新を行うことで、本校の取組を広く発信する。 普通科、スポーツ健康科学科問わず本校の特色や、魅力、取組や生徒の活躍を発信する。</p>				
		<p>アプリ等のツールを有効活用して家庭との連携をさらに緊密にする。</p>				
		<p>乙訓地域をはじめとした近隣の中学校への出前授業・中学校訪問や学校説明会を通して、学習意欲の高い生徒の確保に努める。</p>				
	生徒の探究心の養成	<p>生徒自身のキャリア形成の一助となるような「総合的な探究の時間」の充実を図る。 各学年・コースにおいて、ICTを活用した取組を積極的に取り入れる。 生徒の情報活用の機会を積極的に増やしながら、プレゼンテーションや文章表現などの情報発信能力を身につけさせる。</p>				
	<p>海外の学校との交流等、国際的な視点を育む取組を積極的に取り入れる。 留学等の情報も生徒に発信し、海外志向の生徒を増やす取組を展開する。</p>					

領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題
生徒指導部	個々に応じた生徒指導と規範意識の高揚	<p>個別に課題がある生徒が多数いる中で、一人一人の生徒と向き合い、教職員間の情報共有を充実させ、問題行動の未然防止に努める。 学年部を中心に各分掌と連携をとり、社会的資質・能力の発達を目指して生徒一人一人を丁寧に指導できる体制で指導を行う。</p>			
	生徒会活動の充実と部活動の活性化	<p>基本的な生活習慣の確立として生活規律（身だしなみ指導、スマートフォンに関する指導、遅刻指導等）の指導や、自転車を中心とした安全指導を行う。 個性の理解や発見とともに生徒が安心して安全に学校生活が送れるようにするための人権教育など、社会人として通用する規範意識の高揚を図る。</p>			
		<p>生徒会活動においては、毎週の定例会議を活用し、学校生活をよりよいものにしていけるよう、全校生徒の代表としての自覚ある活動を促す。 一つ一つの取組の意義目的を押さえ、新たな取組を模索しながら全校生徒が主体的に学校生活を送ることができる生徒会の育成に努める。</p>			
進路指導部	生徒の希望進路の実現	<p>進路目標を明確にするための自己発見を促す取組を通じて、自らの将来に明確なビジョンを持たせる。 面談や面接を通じて生徒一人一人のニーズに合った進路目標の実現と、そのための学習法を適切に指導する。</p>			
	生徒の学力向上	<p>探究活動で発表・作成した成果物をさらに昇華させ、総合型選抜や学校推薦型選抜におけるプレゼンテーションや自己推薦書に活用できるよう指導する。</p>			
		<p>授業での学びと放課後の補習、自習室での自学自習を有機的に結びつけ、生徒一人一人の目標や狙いに応じた個別最適な学力方法を提案し、実行させる。 大学入学共通テストの動向と傾向を踏まえ、的確な教科指導を行い、共通テスト出願を促す。 学外の各種説明会やセミナーに参加し、進路指導における最新情報に基づいた進路指導を展開する。</p>			

領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
図書部	図書館の円滑な運営と図書館教育の充実	積極的に啓発・広報活動、イベントなどを実施することで、本や図書館への関心を高め、生徒の読書習慣の定着に寄与できるよう努める。 授業・行事・特別活動において、各教科・分掌との連携を深め、調べ学習におけるタブレット利用との円滑な連携を図る。 蔵書の充実を図ると共に、公共図書館や他校の図書館等と連携し、必要な資料を貸借することで、教育活動を支え、生徒の教養の育成を促す資料の充実を図る。				
	図書委員会の充実	図書委員会活動を活発なものにし、読書週間等の行事の充実を図る。 図書館見学会・図書委員会交流会等、他校との交流や他校の取組から学べる機会に積極的に参加する。				
保健部	心身ともに安心できる居場所づくりのための保健に関する知識・意識の向上	各種健康診断を計画に沿って実施し、生徒の実態に応じて、生徒自らが自身の健康の保持増進を図ることができるようにする。 保健だよりや各種研修・講演会、委員会活動を通じて、生徒・教職員それぞれに対して、保健に関わる事項の知識の向上や啓発を図る。				
		カウンセリングや特別な支援を必要とする生徒に対しての理解を推進し、適切な指導支援を行う。 そのために、担任をはじめとする関係教職員や保護者等が連携を図れるような体制を、充実させる。				
	学習活動の質を高めるための校内環境の美化・整備	通常清掃や大掃除が効果的に行われるようにし、生徒と教職員が一体となって、校内環境を美化・整備し、その状態が維持できるように努める。 委員会活動などで、定期的に啓発を行う。				
	環境検査を学校薬剤師の協力を得て計画的に実施し、その結果に基づいて教育環境を整備する。					

領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
事務部	高等学校教育の変化に対応する教育活動の促進と支援	学校DX推進チーム、探究型学習による新しい教育実践の具体化する取組について、財務を中心とした専門領域の面から模索・促進する。				
		授業改善を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現するための取組を、担当分掌と情報を共有しながら、財務を中心とした専門領域の面から支える。				
	安心安全な学校生活の確保	在校時並びに卒業後の就（修）学を支援する施策を、タイムリーにわかりやすく届けることにより、生徒一人一人が学校生活に集中できる学習環境を整える。				
		日常的な点検や対策を通じた適切な施設管理と設備運営により、施設設備の不具合を起因とする事故事象を未然に防ぐ。				
第1学年部	授業を大切にしよう促し、学習習慣を確立させると共に進路実現に向けた適切なコースを選択できるように支援する	土曜活用について、各教科で取組内容を精査し、土曜に来る意義ある内容の実施をする。				
		朝学習を活用し、授業内容の復習を家庭で学習することで学習内容の定着を図る。				
	部活動や学校行事、探究活動を通じて、主体的に判断し行動する生徒の育成を図る	特別活動、LHRや学校行事を積極的に取り組ませ、リーダー層を育成する。 適宜学年集会を開催する。				
		面談をこまめに行い生徒との人間関係の構築と生徒のことをよく知る機会とする。				

領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
第2学年部	豊かな学びの創造と確かな学力の育成及び希望進路の実現	授業を大切にし、しっかりと受ける姿勢を指導する。また朝学習や課題を提出させることで家庭学習を行う習慣の定着を図るとともに希望進路の実現に向けた学力を育成する。				
		定期的な面談、模試の返却時の指導、保護者、教科担当、部顧問等と連携し、生徒理解に努め、よりよい進路指導の充実を図る。 進路学習を定期的に計画し、希望進路実現へ向けての目標を明確にする。				
	主体的に行動するとともに、他者を認め協働する豊かな心や創造性の育成	学校行事、HR活動、研修旅行、部活動、総合的な探究の時間などの取組を通して、リーダーの育成及び一人一人が主体的に取り組む姿勢を支援し、中軸学年としての意識の高揚を図る。				
		学校行事、HR活動、研修旅行、部活動、総合的な探究の時間などの取組における協働作業を通して、互いを認め刺激しながら尊重し合う豊かな心を育む。				
第3学年部	希望進路の実現を見据えた学習活動等を実践し、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む	授業や朝学習・進学補習などに積極的に取り組む姿勢を支援するとともに、進路に関する探究的取組によって、生徒一人一人が自己理解を深め、希望進路の実現に向けて主体的に取り組む姿勢を育む。				
		進路指導部と連携し、生徒や保護者との面談を実施し、生徒自身が自分の将来について主体的に考え、選択する進路の方針を支援する。				
第3学年部	学習・部活動・学校行事等を通じて豊かな心や創造性を育てる	部活動や学校行事等の取組を通して自己理解を深め、自分の強み知り、他者を尊重し協力し合える力の育成を目指す。 リーダーを中心に主体的に活動することを支援する。				
		学習・部活動や学校行事に積極的に取り組む姿勢を支援し、問題や困難に直面した時に集団で考え解決しようとする姿勢を育成する。				

領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学科の充実に向けた取組の推進	スポーツ健康科学科の学習内容と事業等について、より専門的な洗練された内容となるよう、その体系化を進める。				
		専門科目の効果的な学習を展開し、将来の進路を見据えた学習内容を計画・実践し、スポーツ科学や健康科学、社会学等に対する興味を深め、成果としての研究発表の質をさらに向上させ、保護者や地域、中学校等にその成果を周知する。				
		生徒一人一人の希望進路実現に向け、学力の定着への取組、面談指導、小論文指導を学年や進路指導部等と連携を図りながら取り組んでいく。				
		競技力向上を図り、重点種目にとどまらず、多くの種目で全国大会出場者を増加させる。				

学校運営協議会による評価	
--------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--